

横浜市緑区民文化センター

平成 30 年度 事業計画書

指定管理者 みどりアートコミュニティ

代表団体 相鉄企業株式会社

[横浜市緑区民文化センター]

平成 30 年度事業計画書

[みどりアートコミュニティ]

相鉄企業（株）・（株）横浜メディアアド・（株）清光社 共同事業体

施設の概要

施設名	横浜市緑区民文化センター
所在地	横浜市緑区長津田二丁目1番3号
構造・規模	鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造地上28階、地下1階建一部4階建及び2階建のうち、一部2階建部分（地上2階、地下1階）を専有（区分所有）
敷地・延床面積	専有延床面積 2,999.51 m ²
開館日	平成 25 年 10 月 5 日

指定管理者

法人名	みどりアートコミュニティ 代表団体 相鉄企業株式会社
代表団体所在地	横浜市西区北幸二丁目9番14号
代表団体代表者	代表取締役 佐武 宏
代表団体設立年月日	昭和 36 年 11 月 1 日
指定期間	平成 25 年 10 月 5 日から平成 31 年 3 月 31 日まで（5年6か月間）

1 平成30年度の緑区民文化センター指定管理遂行にあたっての基本方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨(5か年の方針)

◆「はじめる・つながる・ひろがる」地域の歴史と文化を大切に

～アートで人と人をつなぐ。アートコミュニティ宣言～

緑区は、江戸時代には大山街道や八王子街道が通じていて、長津田宿など宿場町として発達した歴史と文化を持っています。

また横浜市の中でも緑被率が一番高く自然豊かで、非常に住環境がよく、横浜線4駅(鴨居・中山・十日市場・長津田)を中心に住宅地が広がっており、それぞれが特性豊かな地区を持つ区であります。

今の緑区に求められているものは、地域の更なる発展を相乗させる地域間交流です。「地域に根差した個性ある文化の創造」のために設置された緑区民文化センターの役割を踏まえ、「はじめる」「つながる」「ひろがる」の3つの基本方針を設定し、地域の歴史と文化を大切にしつつ、広く緑区民に愛される施設となるよう管理運営していきます。

●はじめる(地域の文化振興を担う人材を育成する拠点として)

- ・区民の文化活動、文化交流を積極的に支援し、緑区のアートの中心地として活動していきます。
- ・まだアートに触れたことのない子どもや、区内の学生の芸術活動の支援を行い、緑区の芸術活動の活性化に寄与します。

●つながる(地域の連携の拠点として)

- ・東日本大震災の後、公共文化施設の役割も変化を求められています。文化を通して、住民のコミュニティの醸成を果たす役割を担います。
- ・災害時の帰宅困難者対応など防災の一助を積極的に担い、地域の安全や安心を担う役割を果たします。

●ひろがる(地域の文化活動・情報発信の拠点として)

地域に多くある歴史的文化資産を活かしながら、次世代に緑区の文化を継承していく一端を担います。

(2) 施設管理運営の5か年の基本方針

「第5世代」の区民文化センターを目指します

- お客様の受け取り価値を重視します。
 - ・区民に使っていただくための仕組みづくり、動機づくりを行っていきます。
- 地域のインキュベーター機能としてアーティストと区民との間に入り、地域文化をプロデュースします。
 - ・鑑賞者の存在により表現者を育てることができます。地域の表現者を発掘育成していきます。
 - ・表現する機会を求めている方々を積極的に掘り起し、参加機会の創出を提供します。

- 地域の歴史とともに発展してきたアートを掘り起し再発見します。
 - ・地域の芸能・文化（生活風習や歴史）、古典芸能へ触れる機会を創出します。
- 地域の歴史と文化を次世代や流入世代に継承します。
 - ・地域が築き上げてきた「地域文化」や「歴史」を、次世代及び流入世代に触れる機会を提供し、継承の一助を図ります。
- 社会的包括（ソーシャル・インクルージョン）機能をもたせます。
 - ・一過性ではなく、継続性を大切にし、誰でもアートに触れられる機会を提供していきます。

「区民満足度5カ年プラン」の策定

開館から平成30年度にかけて、区民からお預かりしている税金を無駄なく効果的に活用するため、施策展開の手法や事業執行プロセスのあり方などにも踏み込んで、次のような取り組みを推進し地域に最大限の貢献を行います。

年度と視点		概要
26	区民ニーズが第一	<ul style="list-style-type: none"> ・区民ニーズを重要視し、区民との相互理解を深めながら自主事業の選別を行う。 ・事業の取捨選択の段階から積極的に区民参画を求め、区民第一の視点を徹底する。 ・地域文化人・文化団体との長期的・継続的な協力を築き、利用率の向上を図る。
27	地域協働の推進・事業仕分け	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が直接担う事業と、地域の団体を創設に寄与し引き継ぐ事業の仕分けを行い、区民文化センターで活動する団体を増やす。 ・支援事業の形態を推進し、地域の団体が主体的に取り組んでいただいている事業を支え、最もふさわしい事業のあり方について仕分けを徹底し、区民と力を合わせた形で効果的な事業展開を図る。 ・上記の行動指針によりを自主事業費用の適正化を図る。
28	業務プロセスの徹底した簡素化	<ul style="list-style-type: none"> ・集中的な事業実施により、同じ投資額でより大きな事業効果を上げるなど、指定管理料の有効活用の観点から業務プロセスの徹底した簡素化に取り組む。 ・2年目で達成したことを基準に利用料金の増加と自主事業費用の適正化を図る。
29	人材強化と育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの強みを伸ばし、各々の職員の力を引き出すことに重点を置き、高度化・複雑化する区民ニーズに対応できる専門性の高い職員の育成と、総合力を有する職員の育成を図る。 ・協働型自主事業の展開の中で、共通の課題を持つ多くの区民とふれあうことにより、職員の資質向上を図る。 ・3年間の経験に基づいた本格的なマルチジョブ体制に移行し、人件費の圧縮を図る。
30	持続的・安定的サービスの供給	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入も安定的し、利用者との友好な関係が構築できる。 ・収入も安定し、適切な自主事業の内容と適正な費用で、施設の価値を最大限に発揮。 ・自主事業費の柔軟な運用を図りながら6年以降の目標を明確に定めて、より区民サービス向上の手法と継続的なサービス供給の視点を持つ。

(3) 平成 30 年度の位置づけ

平成 30 年度は「区民満足度5カ年プラン」の最終年度です。開館以来の蓄積されたノウハウを管理運営の面でより進め、持続的・安定的なサービスの提供に努めます。

利用料金収入はまだ想定された目標値には届いていませんが、伸び率は右肩上がりであり、またリピーターも多くなっております。今後も、常に新たな利用者層を開拓しつつ、質の高いサービスを提供することにより、利用者との友好的な関係を構築、利用料金収入の安定を図ります。

また、協働型自主事業を展開していく中で、共通の課題を持つ多くの区民とふれあうことにより、職員の資質向上を図りつつ、区民ニーズを重要視し、相互理解を深め、今後の目標を明確に定めて、館の運営、自主事業、広報の展開に活かしていきます。

開館以来蓄積してきたアンケートや、来館者、利用者、地域の方のご意見などを踏まえて、館の運営並びに事業の取捨選択に活かしていきます。

(4) 平成 30 年度の重点項目

①地域文化の拠点として区民に開かれ、誰もが気軽に利用できる施設運営

今年度の課題としては、ホールの平日稼働率の向上、また、ギャラリーの稼働率の底上げを図ることです。

そのために、区内全域での認知度をもっと広げるため、今まで以上に区内の公共施設との連携を図ります。

今後もお出かけコンサートや広報活動をより効果的に行い、地域文化の拠点として区民に開かれ、区内の文化芸術団体、サークルをはじめ、広く区民に、区民文化センターは自分たちのための施設であるという評価を得ます。

②地域の文化振興を担う人材の育成

引き続き、地域の文化振興を担う人材の育成、活用を図ります。

区民企画委員（アートUPくらぶ）も引き続き募集を行い、開館5周年記念の事業を開催していきます。また、平成31年度の緑区政50周年に向けて、区民とともに企画の準備をしていきます。

登録アーティストによるお出かけコンサートやワン・コインコンサートへの出演など、若いアーティストに発表の場を提供し、育成を継続して図ります。

区内団体、サークルへの協力・支援を継続して行います。

区民参加のワークショップ、企画講座、舞台講座は定着してきました。引き続き、文化活動への参加者の掘り起しへとつなげていきます。

③地域住民、学校、商店街等との連携による地域の更なる活性化を目指します

引き続き、地域住民、学校、商店街等との連携を図り、既に実施している共催事業、協力事業、支援事業等を区民とともに進めてまいります。

地域の更なる活性化に貢献できるようアートによる新たなコミュニティの創出を目指して、コミュニケーションを図っていきます。

(5) 数値目標等

項目	内容・数値目標	数値目標
①	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度の総利用者数で周知度を測ります。 ・ホームページや SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）による情報発信、見やすさを重視した施設パンフレットの作成・配布、月 1 回発行の情報紙の発行など、施設の周知や区民に情報を提供し、利用機会の創出を図ります。 ・SNS では、Twitter、Facebook を目的によって使い分け、多数の方に情報をお届けできるように図ります。 ・区内の各地区センターやケアプラザなどの公共施設のほか、民間施設にも、みどりアートパークの出前公演を行います。緑区全域を対象として、区民文化センターに足を運べない方にもアートを届けて、ひいてはみどりアートパークの周知につなげます。 ・利用文化団体・サークルの同意の上で、データベースへの登録をお願いし、区内の文化団体の把握に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総利用者数 11 万人。 ・月 1 回の情報紙は部数 3,000 部を発行。区内公共施設 24 箇所、市内・市外の公共施設及び、駅、商店など、配布場所を 3 箇所以上増加。 ・Twitter のフォロワー数を前年度より 100 人増加。 ・出前公演 年 8 回予定。 参加者数 合計 400 人 ・登録団体数 10 団体増加。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・区内及び横浜市北部の高等学校と連携して、高校生のアート活動を支援します。 ・緑区内の小学校・中学校の催物を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内外の高校と共催事業 年 2 回 ・緑区小学校児童音楽会 ・横浜市北部中学校演劇研究部会創作劇発表会

	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成を目的としたワークショップを行い、次年度以降の区民参画イベントにつなげていきます。 ・座学だけでなく、参加者が一緒に考えることができるトークセッション形式や、ホール舞台を使った体験形式を取り入れ、より効果的な人材育成を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民のための企画講座 年2回 参加者数 各20人 ・区民のための舞台講座 年3回 参加者数 各20人 ・「街とアートの関わり方」を考えて行くことにつながるトークセッション 参加者数 20人 ・中学生・高校生のための演劇WS 夏休み4日間・冬休み2日間 目標参加者数 各20人 ・運営ボランティア募集と活用 参加者数 10人 ・区民企画委員（アートUPくらぶ）の募集 参加者数 10人
③	<ul style="list-style-type: none"> ・区内ですでに活動されている文化団体や区内諸施設、商店街等と連携していきます。また商店街主催のイベントにも参加するなど、顔の見える関係づくりを引き続き続けていきます。 ・その中で、アートによるまちづくりの課題や区民のニーズを把握・共有しつつ、従来の活動の支援のほか、新規のアートイベントの企画へとつなげます。 ・登録認定オーディションを主催。 合格者によるワン・コインコンサート、お出かけコンサート等にご出演頂きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会連合会の定例会や催物に積極的に出席し、引き続き連携を図っていきます。 ・地元商店街のイベントに協力し、協力体制を築きます。（年1回） ・避難訓練コンサートに、近隣の方を積極的に招待します。 ・各自治会や商店街に、自主事業チラシの設置を依頼します。また自主事業のチケットを提供し、招待者を募集することにより、施設の認知度アップを引き続き継続します。 ・区内団体や区内施設と協働で自主事業を行います。（年2回） ・登録認定アーティスト制度のオーディションを開催。 応募 20人

2 平成 30 年度の文化事業の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨

平成 30 年度のテーマは「つなぐ」。

開館年である平成 25 年度から平成 27 年度までを「活動の基礎をつくる」期間とし、「周知」、「共感」、「連携」をテーマとしてきました。平成 28 年度からは「活動をさらに拡げていく」期間として、「拡大」、「定着」をテーマとして、今年度は「つなぐ」。

開館 5 周年を迎え、開館年より実施してきた事業を継続しつつ、より広くより深く定着を図り、また次年度以降へとつないでいきます。

みどりアートパークがさらに区民に根差した施設となるように区民とみどりアートパーク、また区内の学校、各施設との連携を強化し、活動の範囲をさらにひろげていきます。

- ・緑区民文化センターを知っていただく事業を継続して行います。
- ・地元の歴史と文化にふれる事業も継続します。また、子どもが歴史や地元の文化にふれる機会を作ります。
- ・子ども向けの演劇・コンサート、赤ちゃんのためのはじめての音楽会も強化しつつ継続して実施します。
- ・各種のワークショップ型事業も継続して行い、また講座型事業も強化して、人材育成も進めます。
- ・各地区へのアウトリーチ事業を継続して行います。
- ・区内の高校及び横浜市北部地区の高校と連携した事業を継続します。
- ・区内の小学校、中学校の催物を支援します。
- ・区内の公共施設や民間施設と連携した事業を行います。
- ・昨年度実施したオーディションにより選ばれた区民参加のゴスペルクワイアの活動を通年で実施、区内施設へのアウトリーチ公演も含めて、活動範囲を拡げていきます。
- ・初心者向けのゴスペルワークショップも継続開講します。

(2) 事業の方針

●交流

区民文化センターは文化の交流拠点として、地域の学校、施設、商店街、団体と連携し、多世代・多文化、歴史的な地域文化・新しい地域文化、文化活動団体の交流、あるいは異なるジャンルのアートの交流を図り、アートによる地域コミュニティの再生と創造に寄与します。

●育成

学校をはじめ、区内の施設や団体と連携して、子どもたちや障がい者、高齢者の方、在住外国人の方など様々な方が芸術文化に触れる機会を提供し、鑑賞者の育成を図るとともに、付随して多様な体験型ワークショップを実施し、創造・表現活動者の育成に寄与します。

●文化事業4本の柱

「交流」と「育成」を軸に、「区民参加型交流事業」「地域のコト・モノ・ヒトの発掘・支援・活用事業」「教育普及事業」「鑑賞・育成事業」という4本の柱を立てて、文化事業を進めていきます。

(3) 重点項目

① 区民参加型交流事業

- ・区民参加型のワークショップ事業の開催を増やします。
- ・区民企画委員（アートUPくらぶ）も継続しつつ、第五期の参加者も公募します。
- ・区民のための企画講座、区民のための舞台講座を継続します。
- ・「街とアートの関わり」を区民とともに考えるトークセッションを開催します。

② 地域のコト・モノ・ヒトの発掘・支援・活用事業

- ・郷土の歴史・文化にふれる講座を継続開催します。また、子どもたちが郷土の歴史や文化にふれる機会を提供します。
- ・平成26年度の「長津田十景と長津田の風景」、平成27年度の「鴨居の風景」、平成28度の「十日市場の風景」、昨年度の「山下地域の風景」に続き、緑区内の風景をテーマとした写真を公募、写真展を開催します。
- ・緑区の伝統芸能保存会による「緑区民俗芸能フェスティバル」を継続開催します。
- ・みどりアートパーク登録認定アーティストのオーディションを実施し、登録アーティストには主催事業やアウトリーチ活動に出演、表現の場を提供していきます。

③ 教育普及事業

- ・区内の高校の美術部等の部活動と連携して、高校生のアート活動を支援します。
- ・横浜北部地区の中学校演劇部研究会の発表会、私立高校演劇連盟の演劇発表会を支援します。それにより将来的に新たな事業へとつなげていきます。
- ・区内の小学校へのアウトリーチ活動を行います。
- ・中学生・高校生のための演劇ワークショップを行います。

④ 鑑賞・育成事業

- ・子どもから大人まで気軽に鑑賞できる機会を提供します。
- ・誰でも気軽に鑑賞できるようにチケット単価や曜日・時間帯を工夫して開催します。
- ・子ども向けの事業をより強化していきます。
- ・平日午後のコンサートを行います。気軽に参加できるワン・コインコンサートの他に、やや本格的なアフタヌーンコンサートを開催します。
- ・平日午前の音楽講座を継続します。
- ・ソーシャルインクルージョンを目的とした、聴覚障がいのある方も参加できる事業を行います。また、知的障がい者、発達障がい者と一緒に行う演劇ワークショップと、障がい者たちの発表の場としてステージでの「表現の市場」を支援します。

(4) 数値目標等

項目	内容	数値目標等
①	<ul style="list-style-type: none"> • 区民参加のワークショップ事業を拡大して継続します。 • 区民のための企画講座、区民のための舞台講座を継続して実施します。 • 平日午前のクラシック音楽講座を通年に拡大して実施します。 • 写真講座と作品展 鉄道写真の撮影講座と、そこで撮影した作品展を継続して実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> • ゴスペルクワイア通年 参加者数 計 35 名 • ゴスペルワークショップ 参加者数 計 60 名 • ヴォイストレーニングワークショップ 10 回 各 60 名 • 企画講座年 2 回 • 舞台講座年 3 回 参加者数 各 20 人 • 年 12 回 各 50 名 • 年 1 回 参加者数 20 人
②	<ul style="list-style-type: none"> • 郷土の歴史文化にふれる講座を継続開催します。 • 平成 26 年度の「長津田十景と長津田の風景」、平成 27 年度の「鴨居の風景」、平成 28 年度の「十日市場の風景」、昨年度の「山下地域の風景」に続き、緑区内の残したい風景をテーマとした写真を公募、写真展を開催します。 • 「緑区民俗芸能フェスティバル」を継続開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「街道ものがたり」第 6 期 年 3 回 参加者数 各 50 人 • 年 1 回 応募者数 25 人 来場者数 300 人 • 年 1 回 出演 4 団体 ゲスト 1 団体 来場者数 250 人

③	<p>区内外の高校の部活動と連携して、高校生のアート活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の美術コースの卒業展で、高校生たちに作品創作だけではなく、他者にみせるための展示方法や、効果的な照明の当て方、チラシのデザインなどを考えつつ学んでもらうことを目的とします。 ・私立高校演劇連盟の演劇発表会を支援します。 ・中学校の部活動と連携して、支援します。 横浜市中学校演劇研究会北部地区創作劇発表会 ・区内の小学校へのアウトリーチ活動を行います。 (横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業を含む) ・中学生・高校生のための演劇ワークショップを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回 参加者数 20人 来場者数 200人 ・年1回 参加校11校 参加者数 600人 ・年1回 参加者数 600人 ・4校実施 各校参加者数 60人 ・夏休み4日間・冬休み2日間 参加者数 各20人
④	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの事業を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向け演劇 年1回 来場者数 200人 ・子ども向けパントマイム 年1回 2ステージ 計120人 ・子ども向けコンサート 年1回 来場者数 200人 ・0歳児から3歳児向けのコンサート 年12回 来場者数 各60人
	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な鑑賞機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズコンサート 年3回 来場者数 各250人 ・寄席 年3回 来場者数 各250人

	<p>• 平日午後のコンサートを継続して実施します。 ホールの貸館のない空き日に、ホールにて、「ワン・コインコンサート」を実施します。登録アーティストなど、若手の発表の場の提供であり、また気軽に楽しめるコンサートです。</p> <p>対象は近隣のリタイアされた高齢者、主婦層、小さいお子さんのいる主婦層に、気軽に施設に訪れて頂けるきっかけづくりを目的とします。</p> <p>また、やや本格的なアフタヌーンコンサートを継続して開催します。</p> <p>• ソーシャルインクルージョン機能を持たせた事業の実施 途中失聴・難聴の聴覚障がいのある方も参加できるコンサートを実施します。体感音響システムを利用、手話通訳、要約筆記も交えてのコンサート。</p> <p>• 障がい者と地域の人によって共同で演劇を作るワークショップ「みんなでワークショップ」を福祉事業所と共同開催。 またその発表の場として、同時に他の障がい者の芸術活動サークルに呼びかけて、発表の場を提供します。</p>	<p>• クラシックコンサート 年1回 来場者数 各250人</p> <p>• ポップスコンサート 年1回 来場者数250人</p> <p>• 「ワン・コインコンサート」 年8回 来場者数 計2,000人</p> <p>• 「アフタヌーンコンサート」 年4回 来場者数 計800人</p> <p>• 「身体で聴こう音楽会」 年1回 来場者数 250人</p> <p>• 「表現の市場」(共催) 来場者数 300人</p>
--	---	--

3 平成30年度の施設運営の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨

横浜市緑区民文化センターでは、緑区民文化センター設置目的と緑区運営方針を踏まえ以下のように基本運営方針を設置しています。

「第5世代」の区民文化センターを目指します。

『お客様（納税者）受け取り価値が全てである。』が公立ホールの社会的使命と考える我々は、以下の通り平成30年度の施設運営に取り組みます。

(2) 重点項目・数値目標等

①区民に使って頂く貸館業務を重視し、仕組みや動機作りを行います。

②区民の自由な活動を応援できる体制を整えます

③指定管理者の自己満足でなく「区民満足度5か年プラン」を、適正に運用を行います。

④施設を使って頂くことにより新しい緑区民へ「生活価値」を提供します。

項目	取り組み内容	数値目標等
①	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションボード、コミュニケーションボードの提供。(継続) ・イベントスケジュールの作成。(継続) ・ご意見箱アンケートの活用。(継続) ・利用者会議の開催。(継続) ・貸館利用者を対象とした利用者アンケートの作成。(継続) ・アンケート結果に対するPDCAサイクルの実行。(継続) ・サービス向上委員会の開催。(継続) ・情報コーナー資料の充実化。(継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き各種広報物、掲示物を作成し、施設の周知、情報提供を行います。 ・イベントスケジュールを月に1回作成します。また、より見易い工夫を施します。 ・必要に応じてアンケート内容を見直します。 ・引き続き半年に1回、アンケート月間を設け貸館利用者にアンケートを行い、その結果をもとに利用者会議を行い、運営に反映します。 ・貸館利用者アンケート満足度95%を目指します。 ・アンケート結果を受けて、できることから改善します。 ・毎月、原則第1・3火曜日にサービス向上委員会を開催し、お客様の意見をスタッフ全員で共有します。 ・情報コーナーを整備し、区内、市内、県内、県外の文化情報を提供します。

	<ul style="list-style-type: none"> 貸館利用者を対象としたポイントカード、自主事業鑑賞者（70歳以上）を対象としたシルバー友の会の運営を継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> ポイントカード100人増 シルバー友の会会員60人増
②	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用・文化活動相談窓口の充実化。 	<ul style="list-style-type: none"> 月に一回、相談日を継続します。 施設窓口だけでなく電話・FAX・メールなど相談体制をより充実させます。 受けた質問を、スタッフ全員が受け答えできるように引き続きOJT研修を行います。
③	<ul style="list-style-type: none"> 区内施設や地域の自治会と交流し、情報交換を行います。（継続） 平成26年度から始めた「区民満足度5か年プラン」の5年目として、前年度から引き続き、地元の文化団体、区内コミュニティハウスや地区センター等と連絡を密にしながら、長期的・継続的な協力体制を築いていきます。（継続） 	<ul style="list-style-type: none"> 構成団体が運営を行う長津田地区センター・緑公会堂をはじめ、区内施設と事業協力や広報協力等を積極的に行います。 各自治会連合会の定例会に出席し、情報交換いたします。 長津田商店街協同組合、中山商店街協同組合、谷津田原商栄会、鴨居商栄会、竹山団地中央商店会、緑新栄会、十日市場大通り商店会、霧が丘商店会など緑区内商店街と情報交換いたします。 各自治会や商店街に、自主事業チラシの設置を依頼します。また自主事業のチケットを提供し、招待者を募集することにより、施設の認知度アップを目指します。 公募モニターによるご意見を自主事業や管理運営面に反映させます。 お出かけコンサートを区内5か所（緑区役所および他4カ所）で行います。 区内文化団体と協働した自主事業を行います。 地元商店街のイベントに協力し、協力体制を築きます。（年1回）
④	<ul style="list-style-type: none"> 区内文化専門施設として、さらに施設価値の向上を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間目標来場者数11万人 自主事業来場者（ワークショップ参加者も含む）1万人2千人

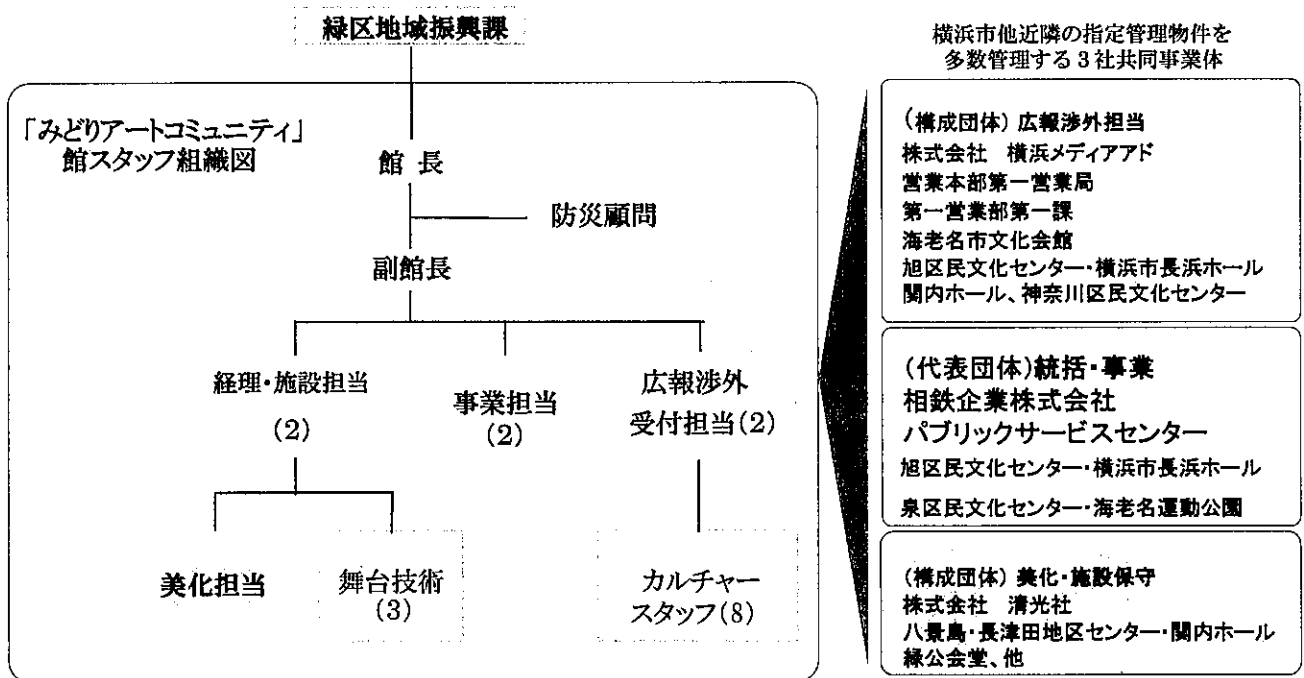
	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリーのお試し利用期間を設け、ギャラリーを安価に気軽に利用していただき、ギャラリーの利用促進と認知度向上を図ります。 (継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリーお試し利用の団体及び個人を4組。
	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、見学受付を行い施設の周知を行います。 (継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時。年間 100 組

4 平成30年度の施設管理の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨

平成30年度は「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」の5年目として、過去4年に蓄積した水光熱費のデータ及び日々発生する軽微な事象を参考にさらに進んだ省エネ推進、事故を未然に防止するリストマニュアル化を主眼として、トラブル防止に繋げていくよう努めて参ります。また、突発的な不具合発生時には、自らが過去の事例を参考に応急処置できる態勢を整えるものいたします。



(2) 重点項目

項目	取り組み内容	数値目標等
安全で効率的な維持管理・予防保全について	<ul style="list-style-type: none"> 施設の基礎情報の把握。 不具合箇所の早期発見、補修。 日常点検、定期点検の実施。 維持保全のPDCAサイクルを計画的に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理計画に基づき定期的な施設点検を実施。 月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検の実施（年1回）。
快適な環境の維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> 美観の維持。 感染症対策。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書内の清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。 年に1回8時間の清掃法定研修を行います。 感染症対策講習を全職員が受講します。

5 平成30年度の文化事業に関する計画について

(1) 趣旨

平成30年度のテーマは「つなぐ」。

今年度は、活動をさらに拡げていく第二段階の三年目となります。開館5周年を迎え、昨年度までの土台をベースに、更に子ども向け鑑賞事業、子育て世代向けの事業をより充実・定着させていき、次年度以降へつなげていきます。また、区内学校や地域団体と一層の事業協力を増やし、学校への連携へも一層進めてまいります。

(2) 具体的取組内容

目的	事業名	内容	実施時期	実施回数	想定人数
1. 多様な機会の提供	おしゃべりジャズ倶楽部	ジャズ初心者向けの解説付きコンサート。	7月 11月 3月	3回	各 240人
	つのだ☆ひろオンステージ	ドラマーでありシンガーであるつのだ☆ひろ氏によるステージ。	4月	1回	260人
	宮田大チェロ・ソロリサイタル	若手人気チェリストの宮田大氏によるチェロ・リサイタル	12月	1回	280人
	MAP寄席	日本の伝統話芸を楽しむ落語公演。	7月 10月 2月	3回	各 240人
	ワン・コインコンサート	ホールの利用のない平日午後にワンコインで楽しめる催し。	4月～ 3月	6回	各 240人
	アフタヌーンコンサート	平日午後に本格的なコンサート。	5月～ 3月	4回	各 200人
	チカパンのパントマイム	子ども向けパントマイム公演	5月	2ステージ	計 150人
	子どものための演劇	ファミリーで楽しめる人形劇	7月	1回	220人
	子どものためのコンサート	ファミリーで楽しめる、体験型コンサート。	11月	1回	220人
	赤ちゃんのはじめての音楽会	0歳児から3歳児までを対象としたコンサート。	6月、 10月、 12月、 3月	6月、 12月、 3月は 各3ステージ	6月、12月、3月は 各60人

				10月は ホール 1ステージ 計7回	10月は 240人
	身体で聴こう音楽会	聴覚障がい者も楽しめる体感音響システムを使用したコンサート。	2月	1回	260人
	区民企画委員会 (アートUPくらぶ)	公募で参加した区民による企画委員会。	月1回	12回	10人
	小学校へのアウトリーチ (横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業含む)	区内の小中学校で音楽(邦楽や洋楽)のコンサートあるいは体験型ワークショップを行う。	調整中	4回	各 60人
	演劇ワークショップ 「舞台をつくろう!」	中高生を対象とした演劇の創作の楽しさ・魅力を体験するワークショップ。	8月・ 1月	2回 (4日間 ・2日間)	各 20人
	企画講座	初心者のための企画講座。座学を中心とした、イベント企画の連続講座。	1・2月	2回	各 20人
	舞台講座	初心者のための体験型舞台講座。舞台・照明・音響・Oからつくる舞台を予定。	1月 2月 3月	3回	各 20人
	登録認定アーティストオーディション	みどりアートパークの登録認定アーティストをオーディションで選考。	2月	1回	応募 20人
2. 人材育成・活用に関する取組	高校生ギャラリー ※共催事業	白山高校美術部による卒業作品展。	1月	1回 (5日間)	参加 20人 来場 200人
	避難訓練コンサート	ホールでコンサート公演中に防災訓練を体験する。	9月	1回	280人
	相談日	相談日を毎月1回設定。ホールの使い方や、文化サークルのことなど、文化に関すること全般の相談。	4月～ 3月	12回	計24人

	利用者会議・利用団体交流会	区内の各団体の相互交流を目的とした交流会。利用者会議後に開催。	9月 3月	2回	各 5団体
	ホール・ピアノ体験 CFXを弾こう!	平日ホールの空き日を利用して、安価にホールのピアノを体験していただく。	4月～ 2月	7回	各 10人
	みどり区民アート展	区民の公募による絵画展覧会。	10月～ 11月	1回	応募 100人 来場 600人
	区民の企画によるイベント	区民企画委員による企画	2月	1回	200人
	写真講座と作品展	鉄道写真の講座と参加者による作品展	6月	2回 作品展 5日間	応募 30人
	神奈川新聞社かながわ音楽 コンクール ※共催事業	神奈川県内における音楽コンクール。	4月 3月	2回	応募 各30人 来場 各300人
	神奈川県私立高校演劇発表会 ※共催事業	神奈川私立高校の演劇大会。	7月	1回	参加 11校 来場 600人
	トークセッション	「街とアートの関わり方」を考えていく事につながるトークセッション。	調整中	1回	20人
	運営ボランティア募集・研修	自主事業の運営のお手伝いを随時募集。	4月	1回	10人
	アートUPくらぶ（区民企画委員）・第5期オリエンテーション	区民企画によるイベント企画、運営等。	調整中	12回	20人
3. 地域活動の	横浜市北部中学校演劇連盟創作劇大会 ※共催事業	横浜市北部中学校演劇部による創作劇大会。	12月	1回	参加 11校 来場 600人

緑区小学校音楽部会発表会 ※共催事業	緑区内小学校の音楽会。	11月	3回	参加 16校 来場 720人
NPO法人ぷかぷか みんなでワークショップ ※共催事業	障がいのある人たちと公募した地域の人による芝居のワークショップ。	8月～ 1月	1回 (全6日)	各 50人
表現の市場 ※共催事業	ワークショップの仕上げの発表会。	2月	1回	300人
表現の市場記録映画上映会	障がいのある人たちと地域の人による芝居のワークショップの記録映画。	8月	1回	300人
シリーズ街道ものがたり 第6期目	毎年テーマを決めて、郷土の歴史や文化を深く探る講座。	11月～ 3月	3回	各 50人
アマチュア・バンド・フェス	みどりアートパークを利用しているバンドを中心とした実行委員会によるライブフェス。	11月	1回	200人
長津田音祭り2018 ※共催事業	長津田音祭り実行委員会による、地元アーティストを中心とした音楽祭。	12月	1回	900人
公募写真展	歴史ある緑区内の風景写真を公募。収集作品の写真展を併せて開催する。	2月	1回 (5日間)	募集 25人 来場 300人
ヴォイストレーニング	適正な発声方法を習得する一回完結型。「歌」に興味を持っていただくためのレッスン。	4月～ 3月	10回	各50人
みどりアートパーク・クワイア チェーロ(通年)	ゴスペルワークショップ参加者からオーディションを経て結成されたみどりアートパーク専属のクワイア	4月～ 3月	月2回 の練習。	35人
ゴスペルワークショップ	初心者向けのゴスペルワークショップ。	9月～ 11月	6回× 1クラス	60人
ゴスペルワークショップ 発表会	ゴスペルワークショップの仕上げのコンサート。	12月	1回	200人

	講座・クラシック音楽への扉	クラシック音楽入門講座。	4月～ 3月	12回	各50人
4. アートによるまちづ	エリアコンサート	みどりアートパーク・クワイアによるコンサート。	調整中	2回	出演者 35人
	アートパークお出かけコンサート	区役所、区内施設、老人介護施設、商店街などに区民文化センターを知ってもらうための出前公演、ミニコンサートなど。	調整中	年7回	来場 計400人
そ の 他	第5回みどりアートパーク民俗芸能フェスティバル	緑区内、周辺地域の民俗芸能を紹介・体験するステージ。	6月	1回	参加 4団体 ゲスト 1団体 来場 250人
	広報宣伝活動	イベントスケジュールの作成 Twitter、Facebookの運営。	4月～	月1回	
	販売促進活動	チラシ、ポスターの作成。	4月～	随時	
	パンフレット製作	施設紹介。	4月～		
	ホームページ	インターネット広報。	4月～		

6 平成30年度の施設運営に関する計画について

(稼働率等貸し館の目標、開館時間、休館日、人員配置、勤務体制、研修計画、広報計画等)

(1) 趣旨

- 中核となる区民文化センター運営組織は、文化施設運営の専門能力を持つ職員と区民から登用したカルチャースタッフとの協働体制を確立させ、「専門性」と「区民・地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたります。
- 各担当職員は、文化事業の企画実施・施設運営・施設管理・舞台技術等幅広い知識と経験・実績を持つ人材を配置し、施設の基盤づくりに尽力します。
- 地域の文化団体・市民団体・商店街・地元企業・学校・各関係機関等と情報交換等の協力ならびに共創関係を築き、信頼関係を深め地域との連携体制を確立します。

(2) 具体的取組内容(実施事項)

①稼働率等貸し館の目標

- 直前割引等の周知を行い、ホール目標稼働率85パーセント(日にち単位)を目指します。
- 平成30年度の総利用者数は11万人を目指します。
- 空き状況をリアルタイムで掲示を行い、準備割引や直前割引を周知します。

②開館時間

- 開館時間は朝9時～夜22時までといたします。

③休館日

- 開館日数 357日
- 休館日 8日(年末年始 12月29日～1月3日、年2回施設点検日)

④人員配置

カルチャースタッフのリーダーとして社員を1人配置し、スムーズな貸館利用を促進します。

- 運営スタッフ(館長1名、副館長1名、防災顧問1名、職員6名)
- 舞台技術(職員3名)
- 受付スタッフ(地元雇用の8名)
- 美化担当(3名)

⑤勤務体制

- 「早番」「遅番」の2交代制と、「朝番」「昼番」「夜番」の3交代制を組み合わせることにより、全体を通して一定のサービス水準を確保します。

↓一日のシフト例

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
	○8:30~17:00、■14:00~22:30															
	①8:50~13:00、②12:30~16:30&13:00~17:00、③16:30~20:30&17:00~21:00															
	[シフト表の残りの行は黒塗りされたセルで構成されています]															

◎研修計画

区民文化センターの運営には、「高いスタッフ力」が求められます。教育については、OJT、OffJT、そして自己啓発による3つの形態があり、これを有効に組み合わせ、スタッフ力の向上を図ります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
OJT 研修			全体研修						全体研修			
	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修	個人情報保護研修
OffJT 研修					アートマネジメント研修			CSR 研修				
							接遇研修					
				普通救急救命講習								
				人権研修						インスペクション研修		
		マナー研修						マナー研修				

・その他…清掃研修（年8時間）、サービス介助士（平成27年度・28年度に取得済み）。

※マナー研修・接遇研修・人権研修・普通救急救命講習は新着任職員に実施します。

⑦広報計画

本年度は戦略的(持続的)な広報体制を引き続き構築するとともに、“伝わる広報(理解・共感)”を目的に、「拡大」「定着」し、さらに次年度以降に「つなぐ」事を目指します。引き続き緑区内に新しい区民文化センターを知っていただく広報を行い、更に事業対象となる顧客層に、一番適切な手段で広報活動を行い、周知を更にひろげていきます。

内容	部数・規模	対象				実施開始時期
		館内	緑区	横浜市	市外	
イベントスケジュール(広報誌)	3000部	○	○	○	○	4月～(月1)
印刷物(チラシ・ポスター)	3000部	○	○	○	○	4月～(随時)
広報みどり	緑区全戸	○	○			4月～(月1)
メディア27社 (チラシデータ・概要書)		○	○	○	○	随時
ホームページ		○	○	○	○	4月～
SNS(Twitter、Face Book)		○	○	○	○	4月～
アウトリーチ	ケアプラザ等	○	○			随時(年4回)
他館へのチラシ挟み込み		○	○	○	○	随時
その他(地元ラジオ局取材)		○	○	○	○	随時

7 平成30年度の施設管理に関する計画について

(1) 趣旨

施設の基礎情報を把握し、迅速な対応で快適な環境を提供し、安全を確保します。

「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」を以下の通り策定します。平成30年度は「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」の最終年度として、過去4年に蓄積した水光熱費のデータ及び日々発生する軽微な事象を参考にさらに進んだ省エネ推進、事故を未然に防止するリستمニュアル化を主眼として、トラブル防止に繋げていくよう努めて参ります。また、突発的な不具合発生時には、自らが過去の事例を参考に応急処置できる態勢を整えるものとしたします。

期間と視点		概要
1年目	施設の基礎情報の把握	最初に行う現状把握は極めて重要であり、最も手間と時間がかかるものです。運営管理の運用実態を含め広く全体に問題点を把握できるよう、可能な限り広範囲に調査します。また、この段階の維持保全にかかわるコストの把握に関しては、おおよその長期維持保全の方針をたてるために、概算レベルのコストで全体を把握します。
2年目	施設データの一元化	施設データは、利活用することが目的であるため、詳細なデータを集めるよりは、実際に必要なデータを絞り込むことが大切です。情報の一元化を行い、運営リスクを最大限考慮した施設マネジメントの土台を構築します。
3年目	予防保全、予測保全対応機器リストの作成	計画的に適切な処理を行うことにより、故障や停止、事故の発生や休館などを未然に防ぎ（リスクの評価）、コストの平準化や利用者サービスの低下を最低限に抑えるための機器の抽出及び修繕費用（部品交換を含め）をまとめます（おもに緑区が修繕費の支出を伴うもの）。
4年目	「事故保全対応機器リスト」の作成	異常が発生しても機器の故障などの影響により大きなリスクを伴わないもの、部品の手配や交換が容易な機器を選別します。この時点で簡易的な長中期保全実施計画（一部単年度実施計画）を策定します。
5年目	「中長期保全実施計画」の作成	計画を作成し、実践していく段階にします。今後2～10年以上にわたる施設の標準的な保全の周期に基づいて計画します。しかし、施設の特性上リスクの大きい施設や管理組合との状況により判断して策定します。区が負担する予防保全については、費用の平準化も不可欠な要素です。特に管理組合との関係（共用施設に係るようなもの）が予測されるものについては、区及び管理組合と十分に協議したうえで計画を立案します。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

①施設設備管理

- ・月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回行います。
- ・日常点検時・定期点検時において発見された不具合は、状況を蓄積しデータ化し、建物独自の傾向を把握し、不具合箇所の早期発見・早期補修を行います。
- ・施設管理計画表（別添）に基づき定期的な施設点検を実施します。
- ・維持保全のPDCAサイクルを計画的に実施します。自社点検が出来るものと、専門性の高いメーカー点検を必要とする設備を見極め、保守計画を作成し、実施します。

・舞台機構の維持管理、建築設備の維持管理については、区の定めた仕様に基づき、メーカーもしくは、メーカーの推奨する保全会社に発注します。

②清掃

・仕様書にある清掃・項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。
・年に1回8時間の清掃法定研修を行います。

③省エネ

・27年、28年、29年度蓄積データを基礎に、変化する自然現象に気象情報に十分対応できる体制で臨むことといたします。

8 その他の計画について

(危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制、個人情報保護体制、ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い、その他の法令順守体制、自己評価・実績評価等)

(1) 趣旨

東日本大震災を踏まえ、事件・事故発生直後は、短時間に多くのことが求められることから、それに戸惑うことなく危機管理マニュアル等により初動体制を確立し、危機管理に当たることが重要であると考えます。

(2) 具体的取組内容

①危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制

- ・横浜市全域の消防行政に深くかかわった経歴のある防災顧問を設置し、避難訓練の実施、普通救命講習を行います。
- ・管理組合や防災センター、自治会と連携することで人的な防犯、防災体制の構築を図ります。
- ・日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）による日常管理の充実。
- ・ホール災害の意識高揚を目的とした避難訓練コンサートを実施します。（本年度5回目）
- ・全スタッフの普通救命講習資格取得を目指します。
- ・既緑区民文化センター危機管理マニュアルの啓蒙をします。
- ・帰宅困難者対応（300人分の備蓄目標）を想定し、引き続き、受入体制を整えます。27年度に実施した受入訓練に基づき、職員に対し受け入れ体制の周知をはかります。
- ・災害復旧用備品（防塵マスク・安全靴）を整備します
- ・休館日や開館時間外も対応可能な人材配備をします。
- ・事業継続のため、職員3日分の食糧を備蓄します。
- ・感染症対策のため、全従業員の勤務3ヵ月分のマスクと手指消毒薬を確保します。またインフルエンザ期には手指消毒液を設置します。

②個人情報保護体制

- ・個人情報保護研修を全スタッフが受講し（年12回）、適正に取扱います。
- ・個人情報が記載された書面をお渡しする際の相互確認については漏れなく実施するよう、朝礼およびサービス向上委員会で館長から全スタッフに継続して意識付けを行います。
- ・公共施設のみならず、一般企業などで個人情報漏洩などに関する事件・事故などが発生した場合、その内容を朝礼・回覧などで全スタッフに周知します。また、取り上げられた事例をサービス向上委員会にて、緑区民文化センターに置き換え、どのような点に注意すべきかなどの対策を練り意識付けを行います。
- ・個人情報取り扱いマニュアル、情報公開マニュアルを運用します。
- ・利用者から個人情報をいただく場合は、その目的をあらかじめ明示し、その範囲内で利用します。

③ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い

- ・館内にご意見箱を設置。また、ホームページにもご意見箱のページを作成し、利用者からのご意見、苦情を週に1回集約します。回答に関してはホームページ若しくは館内に適宜貼り出し、公表します。

④その他の法令順守体制

- ・平成18年度から、コンプライアンスとリスクマネジメントに加えて、環境とCS（お客さま満足）、社会貢献を新たに取組テーマに加え、平成20年度から、「相鉄グループCSR」として取り組みを展開しています。
- ・毎日の朝礼及び夕刻引継ぎ時の申し送りをを行い、公の施設を運営する一員としての自覚を啓発します。

⑤自己評価・実績評価等

- ・PDCAサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取り組みます。
- ・業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築します。
- ・利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取り組みます。
- ・各世代で構成される、モニター（＝区文サポーターズ）を公募し、自主事業公演に招待します。ただしアンケートを必須条件とし、各世代間でのフィードバックを目的とします。
- ・月2回、スタッフで構成するサービス向上委員会を開催します。

9 収支について

(収入確保、経費節減努力、費用対効果向上等(最大限の入場料収入の確保、企業からの協賛金・広告料収入等の獲得、利用者満足度・施設利用率の向上等))

(1) 趣旨

区民ニーズを把握し、事業収入の確保と費用対効果向上に努めます。

また、簡素で効率的な運営による経費節減を実施します。

(2) 具体的取組内容(実施事項)

①区民に求められている魅力ある文化事業を展開します。

・付加価値の高い自主事業の実施により、自主事業収入増を図ると共に、人気と評価の高い事業を積極的にを行い、収益性も向上させます。

・地域創造活動の支援や低料金で質の高い鑑賞事業を実施します。

②お客様満足度および施設利用率の向上に努めます。

・Twitter等で空き室状況をリアルタイムで開示します。

・休館日をできる限り少なくし、時間区分ごとに点検コマを利用し、利用率の向上に努めます。

・年に2回(9月・3月)に利用者会議を開催し、お客様から直接意見をうかがえる機会を設け運営に活かします。

・区民のニーズを把握するため、自主事業ごとにアンケートを行い、その結果を次回に活かします。

③企業からの協賛金・広告料収入等の獲得に努めます。

・昨年度の実績を踏まえ、協賛金、広告料獲得を目指し、各種企業への協賛協力依頼や広告スペースの確保を行います。

④簡素で効率的な運営を行います。

・運営の実績を踏まえ、職員配置の適正化等により、簡素で効率的な組織とします。また、超過勤務時間の縮減により、人件費を抑え、組織体制を恒常的に見直します。

・指定管理業務及び総合ビルメンテナンス業務経験を生かし、ハード(人、物)及びソフト(運用、管理方法)の両面からコストの縮減を行います。また幅広く施設を管理し積み重ねたデータから適切な管理手法を取り入れ、コスト縮減を促進する体制を整えます。また、これらに加え恒常的な改善活動、改善の原則「やめる、統合する、代替、単純化」を活用し削減を図ります。

・常にマルチジョブの意識を持ち、組織のスリム化を図るとともに、委託費等の削減を図ります。組織はスリム化しますが、安全・安心・快適は向上させ、利用者サービスの向上に努めます。また、備品購入についても、LCC(ライフサイクルコスト・調達～使用～保守～廃棄)を十分検討し、経費削減を徹底します。

・点検等は自社、直営スタッフで出来る点検と、専門性、技術、安全性を必要とする点検を見極め、委託業務を検討し、経費削減に努めます。

平成30年度文化事業計画書

事業種別	事業名	開催時期	開催場所	開催回数	入場・参加人員		文化事業経費				1人あたり入場・参加料		事業概要
					募集人数(人)	目標人数(人)	指定管理料充当額(千円)	入場・参加者負担額(千円)	その他(千円)	総経費(千円)	徴収の有・無	入場・参加料単価(円)	
①	おしゃべりジャズ倶楽部	7月	ホール	1	300	240	362	243	0	605	有	一般2,800/70歳以上・障がい者2,000/高校生以下1,000	
①	おしゃべりジャズ倶楽部	11月	ホール	1	300	240	380	225	0	605	有	一般2,800/70歳以上・障がい者2,000/高校生以下1,000	
①	おしゃべりジャズ倶楽部	3月	ホール	1	300	240	361	225	0	586	有	一般2,800/70歳以上・障がい者2,000/高校生以下1,000	
①	第14回みどりアートパーク寄席	7月	ホール	1	300	240	152	250	0	402	有	一般2,800/70歳以上・障がい者2,000/高校生以下1,000	
①	第15回みどりアートパーク寄席	10月	ホール	1	300	240	152	250	0	402	有	一般2,800/70歳以上・障がい者2,000/高校生以下1,000	
①	第16回みどりアートパーク寄席	2月	ホール	1	300	240	152	250	0	402	有	一般2,800/70歳以上・障がい者2,000/高校生以下1,000	
①	つのだ☆ひろオンステージ	4月	ホール	1	300	260	381	280	0	661	有	一般2,800/70歳以上・障がい者2,000/高校生以下1,000	
①	宮田大ソロリサイタル	12月	ホール	1	300	280	290	600	0	890	有	一般3,800/70歳以上・障がい者3,000/高校生以下1,000	
①	アフタヌーンコンサート	5月	ホール	1	300	200	-93	290	0	197	有	1,500	
①	アフタヌーンコンサート	7月	ホール	1	300	200	-93	290	0	197	有	1,500	
①	アフタヌーンコンサート	11月	ホール	1	300	200	-83	280	0	197	有	1,500	
①	アフタヌーンコンサート	2月	ホール	1	300	200	-28	225	0	197	有	1,500	
①	子どもたちのための演劇・デフパペットシアターひとみ	7月	ホール	1	300	220	473	200	0	673	有	一般2,000/高校生以下1,000	
①	子どものためのコンサート・ロバの音楽座	11月	ホール	1	300	220	473	200	0	673	有	一般2,000/高校生以下1,000	
①	チカパン パントマイム	5月	ギャラリー	2	150	150	145	150	0	295	有	一般1,000/高校生以下500	
①	赤ちゃんのはじめてのコンサート	6月	ギャラリー	3	180	180	344	97	0	441	有	大人800 小人300	
①	赤ちゃんのはじめてのコンサート	10月	ホール	1	300	240	435	200	0	635	有	大人1,000 小人500	
①	赤ちゃんのはじめてのコンサート	12月	ギャラリー	3	180	180	344	97	0	441	有	大人800 小人300	
①	赤ちゃんのはじめてのコンサート	3月	ギャラリー	3	180	180	344	97	0	441	有	大人800 小人300	

事業種別	事業名	開催時期	開催場所	開催回数	入場・参加人員		文化事業経費				1人あたり入場・参加料		事業概要
					募集人数(人)	目標人数(人)	指定管理料充当額(千円)	入場参加者負担額(千円)	その他(千円)	総経費(千円)	徴収の有・無	入場・参加料単価(円)	
①	シリーズ「街道ものがたり」その1	11月	リハーサル室	1	50	50	22	40	0	62	有	800	
①	シリーズ「街道ものがたり」その2	2月	リハーサル室	1	50	50	16	40	0	56	有	800	
①	シリーズ「街道ものがたり」その3	3月	リハーサル室	1	50	50	16	40	0	56	有	800	
②④	公募写真展	2月	ギャラリー	1	300	300	50	0	0	50	無	0	
②④	みどりアートパーク民俗芸能フェスティバル	6月	ホール	1	300	250	194	0	0	194	無	0	
③	避難訓練コンサート	9月	ホール	1	300	280	12	0	0	12	無	0	
①②④	ワンコインコンサート	4・6・8・10・1・3月	ホール	6	1,800	1,440	-205	720	0	515	有	500	
①	身体で聴こうコンサート	2月	ホール	1	300	260	460	0	0	460	無	0	
③	お出かけコンサート/緑区役所	8・9・12・3月	緑区役所	4	200	200	120	0	0	120	無	0	
③	お出かけコンサート	調整中	調整中	3	240	200	165	0	0	165	無	0	
③	エリアコンサート	調整中	調整中	2	100	100	122	0	0	122	無	0	
③	学校アウトリーチ	調整中	調整中	4	240	240	0	0	360	360	無	0	
②	登録アーティストオーディション	2月	ホール	1	20	20	90	50	0	140	有	参加料2500	
②③	CFXを弾こう	調整中	ホール	7	70	70	-98	140	0	42	有	2,000	
②	アートUPくらぶ(区民企画)	調整中	会議室	12	10	10	6	0	0	6	無	0	
②	アートUPくらぶ(区民企画)第5期オリエン	調整中	会議室	12	10	10	6	0	0	6	無	0	
②	アートUPくらぶ(区民企画)イベント	2月	ホール	1	300	200	156	0	0	156	無	0	
②③④	みどり区民アート展	10・11月	ギャラリー・会議室	1	100	100	170	50	0	220	有	出展料500	
①③	アマチュア・バンド・フェス	11月	ホール	1	300	200	140	0	0	140	無	0	
②③	区民モニター	通年			10	10	5	0	0	5			
③	利用者会議	9・3月	会議室	2	10	10	5	0	0	5	無	0	
③	利用団体交流会	9・3月	会議室	1	10	10	5	0	0	5	無	0	

事業種別	事業名	開催時期	開催場所	開催回数	入場・参加人員		文化事業経費				1人あたり入場・参加料		事業概要
					募集人数(人)	目標人数(人)	指定管理料 充当額 (千円)	入場・参加者 負担額 (千円)	その他 (千円)	総経費 (千円)	徴収の 有・無	入場・参加料単価 (円)	
①	相談日	毎月	会議室	12	24	24	0	0	0	0	無	0	
②④	MAPクワイア・チェーロ(通年)	4~3月	リハーサル室	21	35	35	686	1,650	0	2,336	有	50,000	
②④	ゴスペルワークショップ	9~11月	リハーサル室	6	60	60	135	600	0	735	有	10,000	
②④	ゴスペルワークショップ発表ステージ	12月	ホール	1	300	200	558	0	0	558	無	0	
②④	ヴォイストレーニング	4~3月	リハーサル室	10	500	500	38	500	0	538	有	1回1,000	
②④	写真ワークショップ・作品展	6月	リハーサル室・ギャラリー	WSZ回/1作 品展5日間	30	30	250	320	0	570	有	大人WS1回10,000/大人WS2回 13,000/高校生以下8,500	
②④	高校生ギャラリー卒業展	1月	ギャラリー・会議室	1	200	200	20	0	0	20	無		
②④	トークセッション	調整中	調整中	1	20	20	8	0	0	8	無		
②④	クラシック音楽への扉	4~3月	リハーサル室	12	600	600	-19	480	0	461	有	1回800	
②	企画講座	1・2月	会議室	2	40	40	98	20	0	118	有	500	
②	舞台講座	1・2・3月	ホール	3	60	60	0	30	0	24	有	500	
②	運営ボランティア募集・研修	4月	ホール	1	10	10	6	0	0	6	無		
②	中高生のための夏休み演劇入門ワークショップ	8月	ホール	4	80	80	532	8	0	540	有	1コマ100	
②	中高生のための演劇入門ワークショップ	1月	ホール	2	40	40	264	8	0	272	有	1コマ100	
②	神奈川新聞社主催かながわ音楽コンクール	4月	ホール	1	300	300	0	0	0	0	無		
③	表現の市場記録映画上映会	8月	ホール	1	300	300	0	0	0	0	無		共催事業
③	「みんなでワークショップ」	8月~	リハーサル室・会議室	6	300	300	0	0	0	0	無		共催事業
③	表現の市場	2月	ホール他	1	300	300	0	0	0	0	無		共催事業
③	神奈川県私立高校演劇発表会	7月	ホール他	2	600	600	0	0	0	0	無		共催事業
③	小学校音楽部会・緑区児童音楽会	11月	ホール	3	720	720	0	0	0	0	無		共催事業
③	長津田音楽祭2018	12月	ホール他	1	900	900	0	0	0	0	無		共催事業
③	横浜市北部中学校演劇連盟創作劇大会	12月	ホール他	2	600	600	0	0	0	0	無		共催事業

事業種別	事業名	開催時期	開催場所	開催回数	入場・参加人員		文化事業経費				1人あたり入場・参加料		事業概要
					募集人数 (人)	目標人数 (人)	指定管理 料充当額 (千円)	入場・ 参加者 負担額 (千円)	その他 (千円)	総経費 (千円)	徴収の 有・無	入場・参加料単価 (円)	
②	神奈川新聞社主催かながわ音楽コンクール	3月	ホール	1	300	300	0	0	0	0	無		共催事業
合 計				184		14,429	8,524	9,145	360	18,023			

・文化事業に要した総経費は、指定管理料から充当した額と入場・参加者負担額等の合計となります。

・事業種別欄に、下記①～④に当てはまるものがあれば記入してください。

①多様な機会の提供 ②人材育成・活用に関する取組 ③地域活動の支援等に関する取組 ④アートによるまちづくり

・必要に応じて、行を追加していただいて構いません。

平成30年度緑区民文化センター管理計画表

項目	業務	内容	年回数	実施月	平成30年												平成31年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
電気・機械設備	設備総合巡視点検		12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	電気設備点検	自家用電気工作物 保安管理 偶数月点検、奇数月リモート点検	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	自家用発電機設備点検		2	6・12月			○						○						
	中央監視装置点検		1	4月	○														
	空調設備点検		2	6・12月			○						○						
	空調自動制御点検		2	4・12月	○								○						
	熱源機器等点検		2	4・11月	○								○						
	ばい煙測定		2	8・2月					○							○			
	冷却水薬剤管理		2	4・7月	○			○											
	レジオネラ菌分析		2	5・7月		○		○											
衛生管理	空気環境測定		6	奇数月		○		○		○		○		○		○			
	害虫駆除		2	8・2月					○							○			
	汚水槽清掃		2	6・12月			○						○						
	湧水槽清掃		2	6・12月			○						○						
建物等	昇降機点検(乗用)	6・9・12・3月は点検 他はリモート点検	12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	昇降機点検(荷物用)		12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	自動ドア点検		4	6・9・12・3月			○				○			○				○	
	電話交換機点検		12	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	監視カメラ点検		1	12月										○					
	舞台音響映像設備保守点検		2	7・1月				○							○				
	音響測定		2	7・1月				○							○				
	舞台吊物機構設備保守点検		3	7・11・3月				○					○					○	

平成30年度 「横浜市緑区民文化センター」 収支予算兼決算書

収入の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	113,970,000		113,970,000		113,970,000	横浜市より
利用料金収入	23,755,000		23,755,000		23,755,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0	
自主事業収入	9,505,000		9,505,000		9,505,000	
雑入	402,000	0	402,000	0	402,000	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他 (自販機電気代・テープ)	402,000		402,000		402,000	
収入合計	147,632,000	0	147,632,000	0	147,632,000	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	69,723,000	0	69,723,000	0	69,723,000	
給与・賞金	31,920,000		31,920,000		31,920,000	
社会保険料	4,542,000		4,542,000		4,542,000	
通勤手当	1,594,000		1,594,000		1,594,000	
退職給付引当金繰入額	658,000		658,000		658,000	
舞台技術等	31,009,000		31,009,000		31,009,000	
事務費	5,383,000	0	5,383,000	0	5,383,000	
旅費	120,000		120,000		120,000	
材料費	1,261,000		1,261,000		1,261,000	
消耗品費	900,000		900,000		900,000	
会議ठीい費	16,000		16,000		16,000	
交際費	41,000		41,000		41,000	
印刷製本費	70,000		70,000		70,000	
諸会費	11,000		11,000		11,000	
広告宣伝費	838,000		838,000		838,000	
通信費	686,000		686,000		686,000	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	901,000		901,000		901,000	
職員等研修費	8,000		8,000		8,000	
搬送手数料	0		0		0	
諸使用料	350,000		350,000		350,000	
リース料	32,000		32,000		32,000	
手数料	130,000		130,000		130,000	
雑費	4,000		4,000		4,000	
その他	15,000		15,000		15,000	仕入・減価償却費
事業費	18,023,000	0	18,023,000	0	18,023,000	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)			0		0	
自主事業費	18,023,000		18,023,000		18,023,000	
管理費	49,078,000	0	49,078,000	0	49,078,000	
光熱水費	15,106,000	0	15,106,000	0	15,106,000	
電気料金	11,251,000		11,251,000		11,251,000	
ガス料金	2,384,000		2,384,000		2,384,000	
水道料金	1,471,000		1,471,000		1,471,000	
清掃費	7,580,000		7,580,000		7,580,000	
修繕費	1,158,000		1,158,000		1,158,000	
機械費備費	389,000		389,000		389,000	
設備保全費	16,025,000	0	16,025,000	0	16,025,000	
中央監視装置保守	733,000		733,000		733,000	
空調自動制御保守	845,000		845,000		845,000	
空調衛生設備保守	2,335,000		2,335,000		2,335,000	
エレベーター (乗用) 保守	1,011,000		1,011,000		1,011,000	
エレベーター (荷物用) 保守	985,000		985,000		985,000	
自動ドア保守	518,000		518,000		518,000	
シャッター保守	231,000		231,000		231,000	
電気設備保守	603,000		603,000		603,000	
自家用発電機保守	367,000		367,000		367,000	
電話交換機保守	778,000		778,000		778,000	
監視カメラ点検	386,000		386,000		386,000	
音響測定	1,484,000		1,484,000		1,484,000	
舞台音響映像設備保守	1,562,000		1,562,000		1,562,000	
舞台吊物機構設備保守	1,468,000		1,468,000		1,468,000	
ホール舞台照明設備保守	1,285,000		1,285,000		1,285,000	
ホール座席点検	157,000		157,000		157,000	
ピアノ保守点検	238,000		238,000		238,000	
ピアノ調律	233,000		233,000		233,000	
衛生管理費 (空気環境測定)	207,000		207,000		207,000	
害虫防除費	162,000		162,000		162,000	
ばい菌測定	119,000		119,000		119,000	
消火水槽清掃	70,000		70,000		70,000	
設備総合巡視点検	194,000		194,000		194,000	
その他	54,000		54,000		54,000	
共益費	8,818,000		8,818,000		8,818,000	
公租公課	3,803,000	0	3,803,000	0	3,803,000	
事業所税	74,000		74,000		74,000	
消費税	3,725,000		3,725,000		3,725,000	
印紙税	4,000		4,000		4,000	
その他 ()			0		0	
事務経費 (計算機等を説明欄に記載)	1,624,000	0	1,624,000	0	1,624,000	
本部分	1,624,000		1,624,000		1,624,000	売上の1.1%
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	147,632,000	0	147,632,000	0	147,632,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入						
管理許可・目的外使用許可支出						
管理許可・目的外使用許可収支						